

1、2号機共用排気筒ダクト接続部のひび割れの確認について

平成 16 年 12 月 20 日

平成 16 年 12 月 17 日午後、当社社員が、定期点検中の 1、2 号機の共用排気筒（1）とダクト（2）の接続部に筋状模様を確認しました。

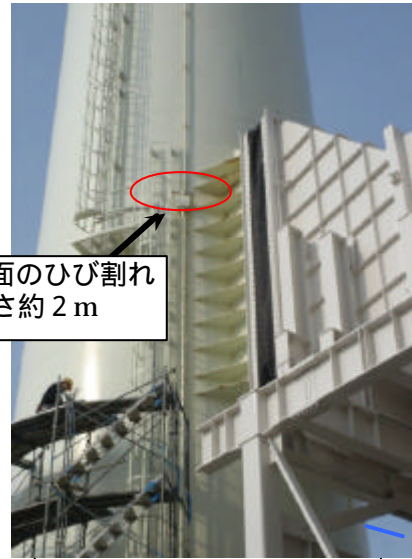
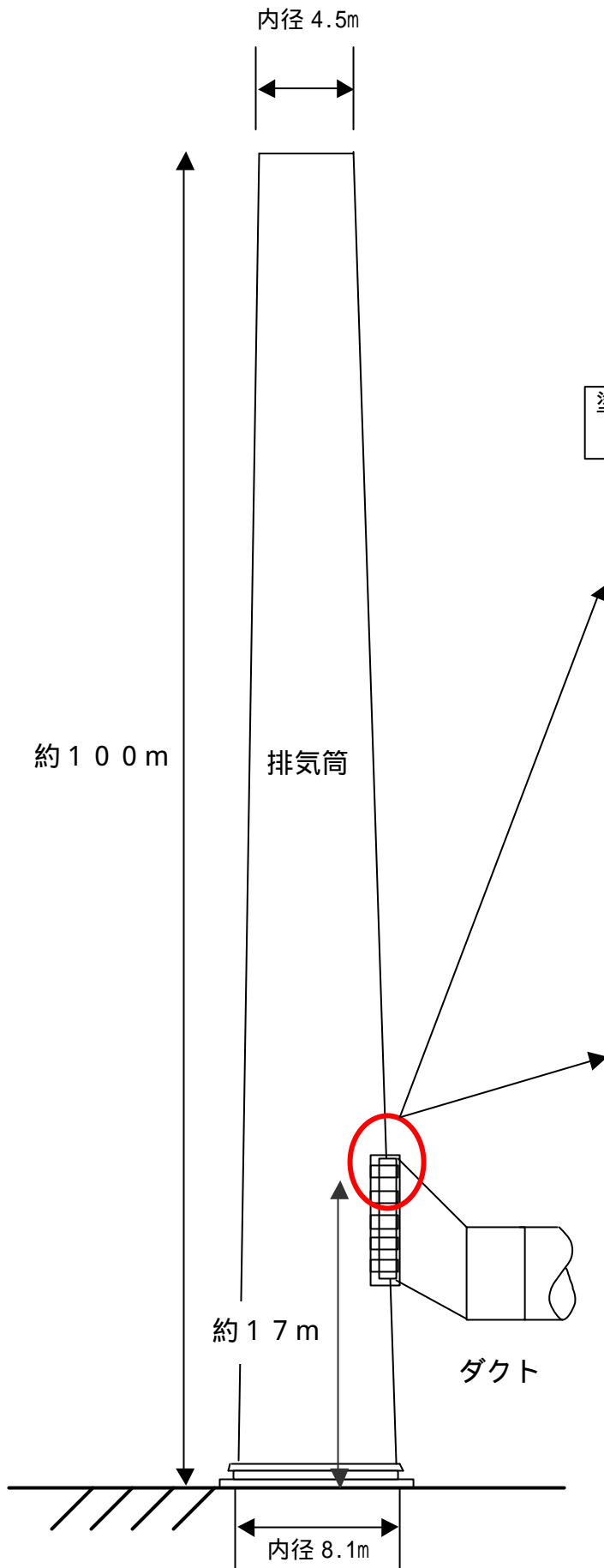
このため、点検用足場を組み立てた後、12月19日に、当該部周辺の一部を外観目視調査したところ、排気筒の周方向 2 箇所、塗装のひび割れ（長さ約 2m と約 1m）があるのを確認しました。また、その一部について塗装を除去して調査したところ、排気筒の本体表面部にひび割れが発生していることを確認しました。

今後、さらに当該部位の全周及びダクトの接続部に対し、ひび割れの有無の調査を行うとともに、ひび割れの確認された箇所に対して詳細調査を行ってまいります。

外部への放射能の影響はありません。

- 1 排気筒は、原子力施設内の空気を大気中に放出するための円筒状の排気設備であり、高さは約 100m あります。
- 2 原子力施設内の空気を排気筒に導く設備です。

以上



塗装表面のひび割れ
長さ約 2 m

ダクトの接続部（東側）



塗装表面のひび割れ
長さ約 1 m

ダクトの接続部（西側）

1、2号共用排気筒の仕様

- ・高さ 約 100 m
 - ・上端部内径 4.5 m (全周約 14 m)
 - ・下端部内径 8.1 m (全周約 25 m)
 - ・上端部板厚 () 9 mm
 - ・下端部板厚 () 29 mm
- (当該部付近板厚 約 26 mm)

排気筒は鋼鉄製であり、内面には約 80 mm のモルタルの内張がされています。